

Edulution

令和8年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。

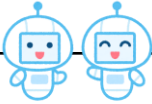


※県教育委員会ホームページのICT教育のバナーにアクセスしてください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/giga1.html>

生成AIの活用事例やプロンプト例を紹介

近年、生成AIは急速に普及し、文章作成や情報整理など様々な場面で活用されています。学校教育においても、教職員の校務負担軽減や授業準備の支援、児童生徒の学びの充実につながる可能性が期待されています。一方で、誤った情報の生成や個人情報・著作権への配慮など、活用に当たって注意すべき点もあります。これからの社会を生きる児童生徒には、生成AIの利点と課題を理解し、その特性を踏まえて適切に活用する力を育成していくことが重要です。

生成AI活用例

校務	学習
・会議の議事録作成 ・校外学習等のしおり案作成 ・アンケートの集計 ・部活動の計画や練習メニュー作成	 ・英語のスピーキング相手として活用する ・自分の考えとAIの考えを比較する ・よりよい問いをつくるための壁打ち相手にする ・仮説づくりや考察の幅を広げる

プロンプト(指示)例

〇〇会議の議事録を作りたい

以下の会議メモを整理してください。

【出力形式】

- 決定事項 ■今後の対応事項
■担当者 ■期限 ■次回までの確認事項

重要事項を優先順位順に整理し、重複した内容は統合してください。不明な点は推測せず、「不明」と記載してください。

できる限り正確な情報を集めたい

- ・誤情報を避け、根拠に基づいて回答してください。
- ・不明な項目は推測せず、不明と回答してください。

情報の比較を行いたい

- ・重要事項を優先順位順に整理し、重複を除いて要点を簡潔にまとめてください。
- ・客観的な比較を行い、メリット・デメリットの両方を記載してください。



活用時の 注意点



個人情報
は入力しない

- ・児童生徒の名前
- ・成績や評価
- ・健康情報
- ・保護者の情報 など



AIの回答は
必ず事実確認する

誤りや古い情報が
含まれる可能性が
あります。



最終判断は
人が行う

AIはあくまで
サポートツール。
責任ある判断を。



著作権・情報モラルに
配慮する

他人の著作物の利用や
情報の取り扱いに
注意しましょう。

各自治体の生成AI活用のルールも必ず御確認ください。



文部科学省のWebサイトには、生成AIパイロット校の実践事例が掲載されています。